

令和7年3月25日（火）18時30分～21時まで、与那国町庁舎2階会議室で住民懇談会が開催されました。（企画財政課主催）

住み続けられる・住み続けたい与那国とはなにか？

3つの問いを用いて参加者の皆さんで対話し発見していくことを目的に集まり、町民の皆さんが6名、役場職員の有志が13名参加しました。

なるべく多くの方にご興味のある内容でご出席いただくことを目指し、内容と日程の決定には、令和6年12月にアンケート形式の募集、そしてテーマと日程決定後、令和7年1月8日～22日と募集を2階に分けて行いました。さらに参加者を募るため当日までと柔軟に募集し、当日参加がしやすいプログラム形式にすることにしました。

島内店舗の窓などに掲示のご協力いただき誠にありがとうございました。



日時	令和7年3月25日（火）18時30分～21時
場所	与那国町庁舎2階会議室
目的	住み続けられる・住み続けたい与那国とはなにか？ 3つの問いを用いて参加者の皆さんで対話し発見していくこと
参加人数	計 19 名 （町民の皆さんが6名、役場職員の有志が13名）
募集方法	チラシの掲載（庁内、島内店舗店先掲示）・与那国町公式 Line での発信
募集期間	1次：令和6年12月末日 ・ 2次：令和7年1月8日～22日 ・ その後当日まで
募集内容	【話したい懇談テーマ】 ①観光・交流 ②農林水産業 ③医療・福祉・子育て ④まちづくり ⑤教育 【参加可能日程】 3月22または29日(土) 午後14時～17時 3月25～28日（火～金） 午後18時30分～21時



■問1 「与那国のまちづくり」で良い！と思う取り組み・活動・場所は？

という問いを、事例も示しながら、対話を進めました。

・事例

【助成・補助】 離島航空運賃、廃車輸送費、歯科渡航費

【子育て環境】 修学旅行や遠征補助、給食費完全無償、児童生徒の漁業体験、町営塾無償、久部良子育て支援センター、台湾への修学旅行

【スポーツ】 字別対抗スポーツ大会、公民館サークル活動

【文化継承・交流】 方言辞典、教育員会カレンダー、民謡 QR コード、中学郷土学習授業、島内台湾イベント

【環境・景観保全】 比川浜のビーチクリーン（民間）

【産業・仕事】 クシティの日（12月第二日曜日/平成26年度条例）

【移住定住】 移住体験施設・体験プログラム、交流ハウスとぼるん

問1 「与那国のまちづくり」で良い！と思う取り組み・活動・場所は？

例えば

【助成・補助】 離島航空運賃、廃車輸送費、歯科渡航費

【子育て環境】 修学旅行や遠征補助、給食費完全無償、児童生徒の漁業体験、町営塾無償、久部良子育て支援センター、台湾への修学旅行

【スポーツ】 字別対抗スポーツ大会、公民館サークル活動

【文化継承・交流】 方言辞典、教育員会カレンダー、民謡QRコード、中学郷土学習授業、島内台湾イベント

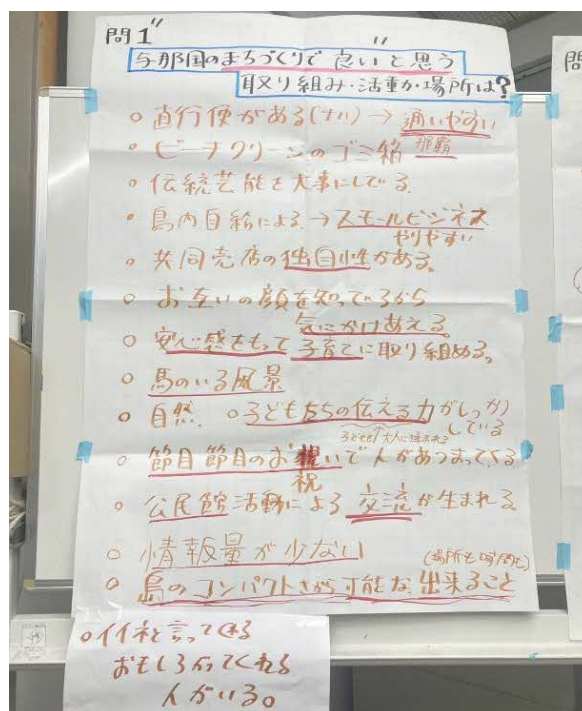
【環境・景観保全】 比川浜のビーチクリーン（民間）

【産業・仕事】 クシティの日（12月第二日曜日/平成26年度条例）

【移住定住】 移住体験施設・体験プログラム、交流ハウスとぼるん

■問1の参加者の皆様のご意見

- ・那覇と直行便がある。（直行便で思いました。新任の先生に人気ある。）
- ・比川のビーチクリーンのごみ箱が善意や気持ちを表現や行動に移せるしくみが素敵。（ごみ箱は住民からの要望。）
- ・伝統芸能を大事にしている。
- ・物価高いから、地域で商売する可能性があるという面ある。シタケ、もやしとか自分で作れる。比川に野菜売っている。島内自給自足によるスモールビジネスのチャンスがある。
- ・比川の共同売店の品ぞろえが面白く独自性がある。
- ・互いの顔を知っている関係性があるので、みんなが互いを気にかけているところが良い。



- ・**安心感をもって子育て**に取り組める。地域のみんなで育てている感がある。
- ・子供がのびのび育つ。まわりも見ている。
- ・**与那国馬の風景**。
- ・**自然**がよい。突き抜ける風がよい。油絵の創作意欲が高まる。何もない感じが心地よい。アートスクールしたら、**子供たちの伝える力**が強いと思った。自衛隊の子供もそうなる。
- ・**情報量が少ないことが強み**。発想が湧き、集中しやすい環境。
- ・伝える力があるのは、小さい頃から**自己紹介する習慣**があることが影響しているかもしれない。
- ・学校とか集落行事でお疲れさま会などで、自己紹介をする文化がある。
- ・高校生の合格発表で、みんなが集まる場であいさつさせられる。高校では何をがんばるとか発表する。
- ・小学校でも人前で自己紹介させる。お祝い、入れ代わり立ち代わり。挨拶する習慣。
- ・入学式、卒業式、成人式のとき。
- ・**公民館の活動**が盛んで**交流**が生まれる。
- ・島が小さいから**何でもすぐできる**。畑も釣りも、出勤も。**やりたいことに使える時間**が確保しやすい
- ・やりたいことのひな形が作りやすい。スモールビジネス。やりたいことができる、**おもしろがってくれる人が多い**気がする。いいねと声をかけてくれる。

■問2 与那国に「住み続けよう・続けたい」と思った決めては？魅力は？

という問いを、まずは大変なところを皆で言い合うことから、事例も示しながら、対話を進めました。

・事例 住むのは大変！不便！

【地理的遠さによる不安定さ】飛行機（欠航遅延）・医療

【コスト高】物価・燃料・家賃・建築資材・旅費・輸送

【人手・人材不足】仕事はあるけど

【暮らしを創るのが大変】新規参入の情報や支援不足、住宅難

問2

与那国に
「住み続けよう・続けたい」
と思った**決めては？魅力は？**

住むのは大変！不便！

【地理的遠さによる不安定さ】飛行機（欠航遅延）・医療

【コスト高】物価・燃料・家賃・建築資材・旅費・輸送

【人手・人材不足】仕事はあるけど

【暮らしを創るのが大変】新規参入の情報や支援不足、住宅難

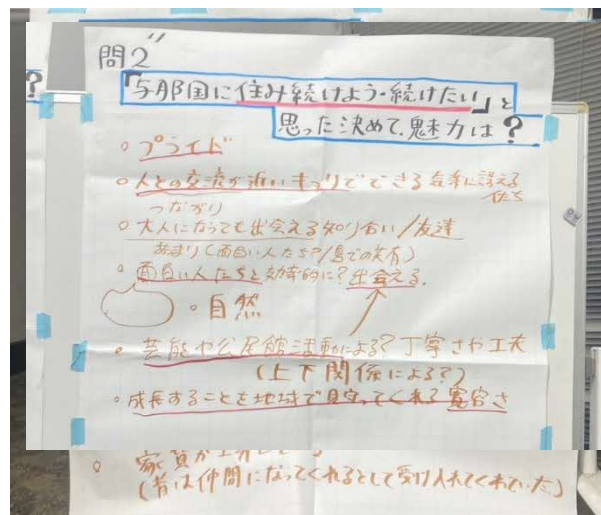
■問2の参加者の皆様のご意見（まずはお困りごと）

- ・**物流の問題**。アマゾンは無料、ゆうパック、ヤマト便。送料あげてきたら住みにくくなる。企業の判断一つで変わってしまうとても危うい状態であるということは忘れない方がいい。フェリーの荷下ろしを見るとコンテナ2個分アマゾンのようだ。
- ・**バス**。身近なバスだけ。町民のらないけれど。空港までの送迎のとき、回送車にすれ違う時もある。空港の接続に便利になるよう時刻表を少し変えられないか。観光客で久部良から祖納まで歩いている人がいる。フェリーの待ち時間が1時半もある。**利用者目線が不足**しているのではないかな。

・**景観条例**。ときおり残念なことがある。東崎のあだんが伐採された。**植物も**大事な景観と思う。祖納集落にきれいな**石垣・ふくぎ並木**があった。そこが壊されてしまった。ショックだった。壊さないように指定など政策してほしい。景観面から、コンテナホテルに疑問をもっている。私物だから意見言いにくいが。

・この会議は**何の会議か？意味があるのか？**町長・副町長に話をした方がいいんじゃないの？

・住民の皆さんには町長・副町長へ直接伝える方法もあるし、役場の取り組みとして、積み上げていくことも大切。この会議は、**町民の皆さんと役場職員が対話をする**ことで、**役場の取り組みを進める足掛かりを得るために、積み上げていく場**。



・保育所の入所について。4月からなのに、払込票だけきて、今後のスケジュールがわからなかった。保育所不足、**利用サポート**が不十分と思う。子育て安心ではない。

・高麗者施設もない心配。

・利用者サポートと言えば、与那国町のふるさと納税の手続きに愛がなかった。他の自治体と比較して手間がかかった。ちよつとの工夫だけれど、そういうことから利用者数に繋がるのでは。

・**情報入手が難しい**。人に聞けにくいという面が不便。

・**新庁舎**について。住民も思いがあるのだけど。前回、なんで白紙になったのか、活かされていない。説明会あった。最初、反対もあったが、そのまま。新庁舎に機能統合する問題で、診療所は分館にしてほしい。バスの確保という話もあったが、バスは現状不便。DiDi 館の様なホールは庁舎にあってよい。説明会はあってほしい。**行政に町民の声が届く機会がない**。

・最近、**家賃が高**くなってきている。といって収入もあがっていないと思う。島に住み始めることが難しくなった感じ。20年前は、バックパック1つで島に来て、島の人は寛容で住ませてくれた。地域活性化に大切と言われる**ヨソモノ・バカモノ・ワカモノ**が住める余白が今は**無い**のではないかな。

■問2の参加者の皆様のご意見（住み続けたい決めて）

・地元だから戻ってきた。プライド。老舗のプライド。与那国の誇り。地元愛。

・**人と交流できる**ところが良い。東京は人との距離がある。大人になってから知り合った人も面白い人が多い。島が好き、って人が多い。

・**島の人**が面白い。島が小さいから面白い人と効率的に会える。

・**自然**が豊か。

・**芸能や公民館活動**で出会ってつながりができるが良い。皆さん工夫にあふれている。年齢に関係なく丁寧。先輩後輩の関係性があるので、育まれているのではないかな。

・食べ物も作物もいろんなものが、誰が作ったかわかる。島が小さいから、それぞれに役割がある。

・**成長することを地域で見守ってくれる寛容さ**がある。スモールビジネスの視点から言えば、都会だと最初から 80 点を求められる。与那国は 60 点スタートが許してくれるので、チャレンジしやすいのではないかな。

■問3 その「決めて」をどうしたら残せるかな？

という問いを、まずは大変なところを皆で言い合うことから、事例も示しながら、対話を進めました。

・残すために意識したい「与那国らしさ」や「課題」の視点

【与那国の個性】（国境・最西端）沖縄や石垣のまねではない

【生きた文化継承とは？】（守ると活かす・暮らしの延長）

【与那国人の特徴】（個々人の高い能力・マルチな人材）

【迫りくる課題】（産業人口減少・産業の片寄り・国との関係）

【良さも悪さも表裏一体】バランスや捉え方の幅の拡大

問3

その「決めて」を
どうしたら**残せる**かな？

残すために意識したい「与那国らしさ」や「課題」の視点

- ・与那国の個性（国境・最西端）、沖縄や石垣のまねではない
- ・生きた文化継承とは？（守ると活かす・暮らしの延長）
- ・与那国人の特徴（個々人の高い能力・マルチな人材）
- ・迫りくる課題（産業人口減少・産業の片寄り・国との関係）
- ・良さも悪さも表裏一体、バランスや捉え方の幅の拡大

■問3への皆さんの意見

・東崎のアダンを切った話は、誤解がある。**アダン**増えすぎると、芝がなくなる。牧場管理の一環なので、理解してほしい。**馬の風景**も、馬と人が一緒に作ったもの。アダンは昔から焼いていた。アダン焼くとキノコを生えてきて食べる習慣も。人が減って、管理ができない。自然は人の手が入ってこそ。**昔からの人々の営み・知恵を見直す**。

・**石垣**を守るための修景の補助制度はないか。石垣だけでなく、大きなフクギも切ってしまう。切って捨てるのではなく、その利用も考えたい。本島の本部の**フクギ並木**に負けないくらい素晴らしいものを与那国もあつたのに残念。

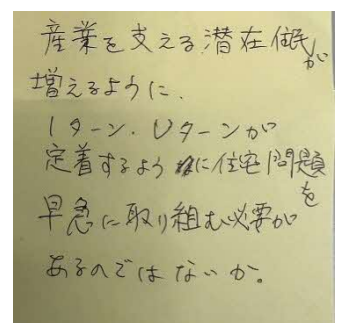
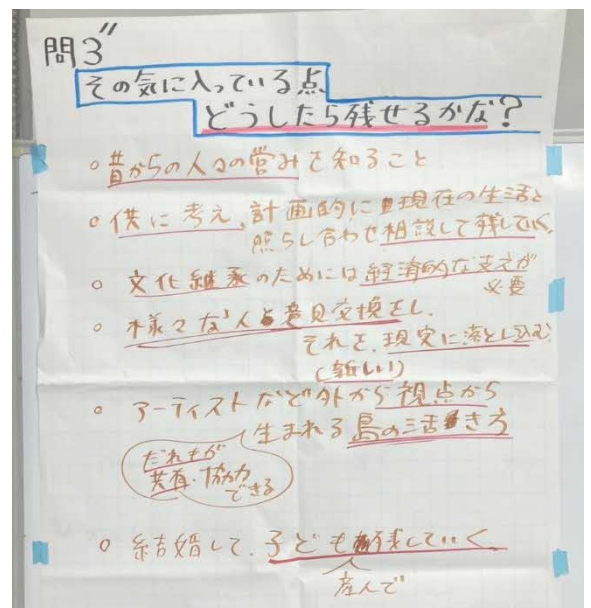
・切らなきゃいけないフクギもある。観光道路と生活道路のところは切った方がよい。車のミラー壊れている。ただ生い茂っているだけならだめ。

・**話し合うこと、共に考え得る。折り合いが大事**。丁寧なくらしができる。

・皆さんが心配しているホテルについては、今後はコンテナ型ではなく建築型をしていく予定。コンテナにウッドつけたりする考えになっている。デザイナー入れたりして修正したい。知らないことばかりなので、いろいろ教えてほしい。

・外観に気を付けてほしい。

・与那国の家は南側に入口があるという規則性がある。先人たちの知恵、そういうことも気にしてほしい。



- ・こういう会議で皆で**共に考え**、認識していくのが大事。今は都市計画の柱みたいなものがない。例えば、ヨーロッパでは車の通行させないエリアを指定して風景を継承している。**計画的**に現在の生活と照らし合わせ、相談しながら**残していく**
- ・町営住宅というと、コンクリの同じ感じのものができてしまう。湿気こもったり、窓が小さかったりする。島の気候に合っていない。自分で手づくりのリフォームしたが、昔の知恵を取り入れながらやると、涼しく、湿気もこもらない。
- ・「文化的景観」を探しに文化庁の人が来た。文化継承。どこを残すのか、皆で認知し共有していくことが大事。**文化継承**に対しては**経済的な支援**も必要。
- ・**島が活きる新しい視点（ヨソモノの目）**を入れていくことも大切では、例えばアーティストに入ってもらうのはどうか。アートは子供も大人も関係なく誰もが、共有・協働できるのが魅力
- ・自分自身も島に来て、洗い流される感覚がある。アーティストにとっては島は魅力。アートインレジデンス。生きるアートフェス。島自体が活きるアートフェスしたい。
- ・結婚して子供を産んで残していく。
- ・**産業を支える潜在住民が増えるように I ターン・U ターンが定着**するように住宅問題を早急に取り組む必要があるのではないかな。

■お話の振り返り

【良いところ】

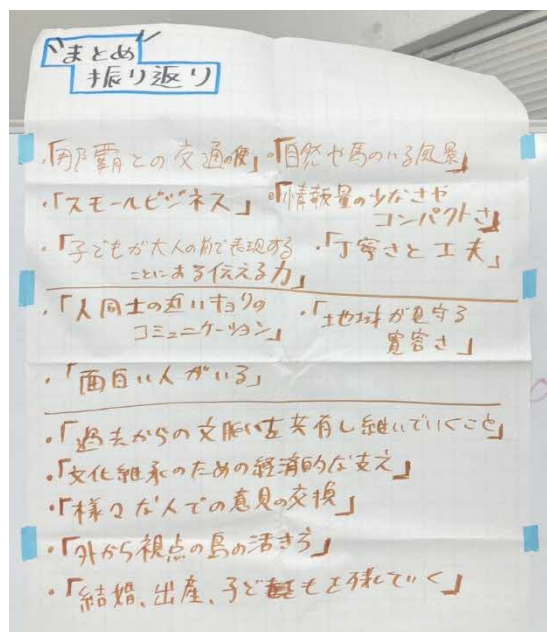
- ・那覇との交通の便の良さ
- ・自然や馬のいる風景
- ・スモールビジネス
- ・情報量の少なさやコンパクトさが強み
- ・子供の表現する力、伝える力（大人の前で表現してきたことによる）
- ・丁寧さと工夫

【与那国に住み続ける決めて】

- ・人との近い距離のコミュニケーション
- ・面白い人がいる
- ・地域が見守る寛容さ

【残していくためには】

- ・過去からの文脈を共有し継いでいくこと
- ・文化継承のための経済的な支援
- ・様々な立場の人との意見交換
- ・ヨソからの視点の島の活かし方
- ・結婚、出産、子どもを残していく



【参加者アンケート】（母数 19）

1) 本日の感想を漢字一文字にすると？ そしてその理由

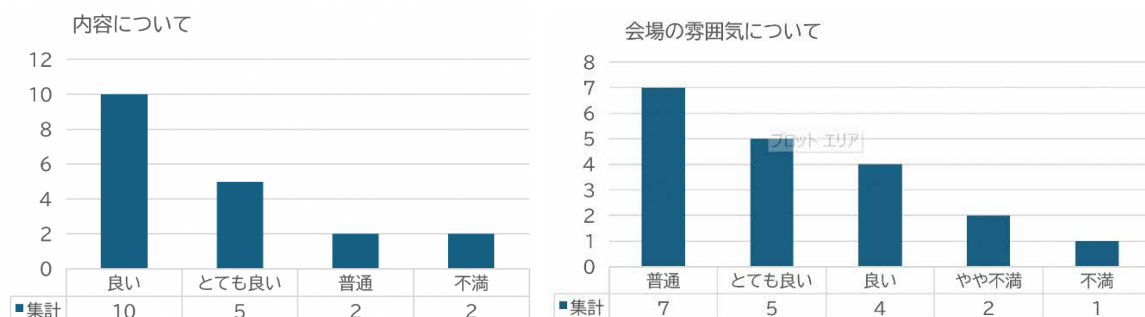
知	色々な事を知ることができた。	知	会話を通じ情報を知るということは、課題とすることや、どのような良いことがあるかなどを知る、いい機会となった。
新	新しい視点を得ることができた	未	まだまだな点が多いと感じた
集	色々な情報を集められたから	集	一同に集まって意見を出すのが良いと思うから
和	会を持つことの大事さを学んだ	和	ディスカッションする経験を住民は積んだ方が良い
異	角度がかわると、同じテーマでも沢山意見がでるということ。	意	意義深いから
雑	生産性がみつからない	考	考え続けることが島を良くする唯一の手段
悩	結局、不便やありのままの与那国島を受け入れることができる人が島を守り住み続けることができるのだと思う。 そんな人たちの声を押さえつけるほどの自衛隊員や島をマーケットと捉える業者がなだれ込むように参入してくる現状が悩ましい。	結	①人と人が結ばれる：町の未来を語り合うことで、住民同士のつながりが生まれるためです。 ②意見を結集する場：多様な声が集まり、合意や方向性が形になっていくためです。 ③地域と未来を結ぶ：今の行動が、次の世代や未来へと続く橋渡しになるためです。
初	住民と役場がお互いに 1 つの目標に向かって話し合った初めての場だと思うから	広	これから広がりがありそうな会でした。実際参加してみると意見を言うのは少し勇気がいりました。それを違う言葉へ言い回ししてくれることで自分の意見の客観視が非常に進みました。町内では出るところがなく、引きこもっているお年寄りや奥さんがかなりいると思います。その方達の意見も聞くことができればいいんじゃないかな、と思います。
痛	行政を責める流れになり心が痛かったです。	交	いろんな視点が交わることで、有意義な会になったと思います。
愛	与那国への愛が溢れている人が多かったから		

2) 内容について

良いと答えた方が半数（10 名）を超え、とても良いと合わせると 15 名となり、不満の方は 2 名であった。

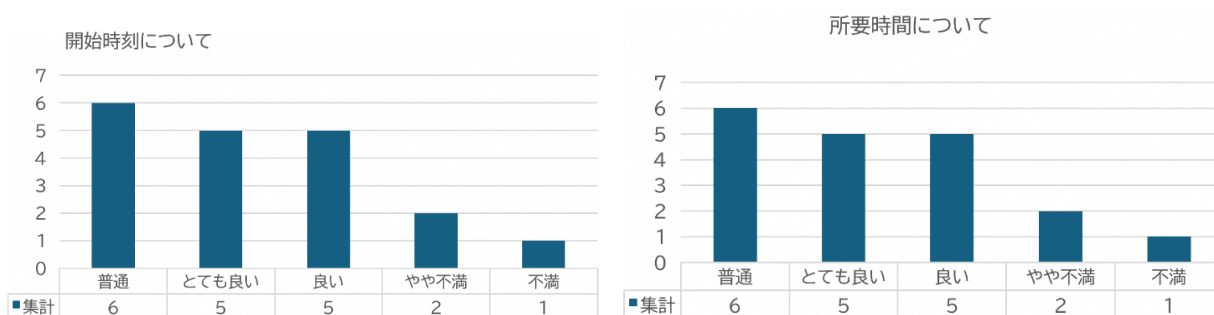
3) 会場の雰囲気について

普通と答えた方 7 名で一番多く、次いでとても良い 5 名、良いが 4 名、やや不満・不満は計 3 名であった。



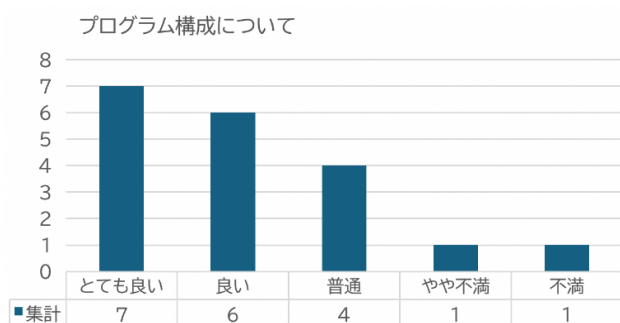
4) 開始時間・所要時間について

普通が 6 名、とても良い・良いも 10 名、やや不満と不満が 3 となった。開始時間については、町民の皆さんが参加しやすい時間の工夫が必要である。



5) プログラム構成について

とても良い・良いの評価が 13 名と高く、やや不満・不満の方は 2 名となった。



【司会進行を終えての感想】 まちひとこと総合計画 田邊寛子

——対話の場づくりのための職員達の思い

与那国が永続的に住みよい町にしていくためには、様々な立場の方が、様々な方法で自分事としてまちづくりを行うことが根源にあると思います。本懇談会の役目は、行政がコツコツと積み上げて政策や取り組みを実行していくための手がかり・足がかりを見出すことでした。開催に向けては、役場職員の町民の声を「お伺いしたい」という意気込みを感じまし

た。例えば告知方法に、住民が参加しやすい日程や時間帯を見つけるための募集の工夫、当日途中参加早退も可能なプログラム構成は、目立ちませんが職員の思いの表現であったと思います。また、当日は若手職員が有志で 13 名集まったことも評価すべきことだと感じています。

——期待するが故の町民の熱い思い・強い言葉

一方で本会の告知不足や日々役場の政策や取り組みの説明の不足へのお叱りとご助言を参加者からいただきました。次回の糧になるよう、町民の皆さまの期待として庁内会議で報告していきます。行政の「努力の順番・矛先が違う」と町民の皆さまは思われることもあるでしょう。対話を続けることで、より良くしていただきたいと思います。

——相手を理解し課題を解決する「対話の場」への期待

参加者の多くの方から、対話の大切さについての「気付き」のコメントを頂きました。「対話の場」がこれからも与那国にあることを望んでいらっしゃる町民が潜在しているのではと感じました。

与那国には可能性のある素晴らしい人々が多くいるので、様々なテーマで、それぞれの役割や力を発揮できるよう、役場は「対話の場づくり」の支援をしていっていただきたいと思います。

——「イキイキ・ワクワクする対話の場」を町民も行政も歩み寄って育む

特に、役場と町民の方との対話の場は、町長・副町長、課長等管理職が参加し見守る中で、若手職員と、政策実行の大切な担い手である町民の皆さまと、共にイキイキとワクワクと新しい発想が生まれるような場にすることが、住みよい与那国になる小さくて大きな一歩であると思います。全庁・全町が「まるんな」となって進めていただくことを祈っています。